

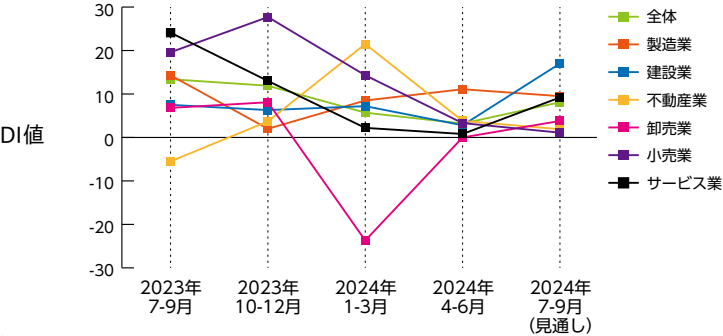
第88回調査実施概要

1.調査時期：2024年7月1日～7月22日 2.対象期間：2024年4月～2024年6月期、および2024年7月～2024年9月期見通し 3.調査対象：支部会員中小企業（約3,431社）①製造業・建設業・運輸業・その他の業種（②～④を除く）…資本金3億円以下、または従業員300人以下 ②卸売業…資本金1億円以下、または従業員100人以下 ③小売業…資本金5千万円以下、または従業員50人以下 ④サービス業…資本金5千万円以下、または従業員100人以下 4.調査方法：調査票郵送～郵送・FAX・インターネットにて回収。区内金融機関に協力依頼。 5.回収状況：合計494社（回収率=14.4%）製造業…63社・不動産業…52社・小売業（飲食業含む）…90社・建設業…106社・卸売業…52社・サービス業…131社 ※数値については小数点第2位を四捨五入しており、計算値が一致しない場合がある。

お問合せ 東京商工会議所世田谷支部 TEL：03-3413-1461

業種別の
動向

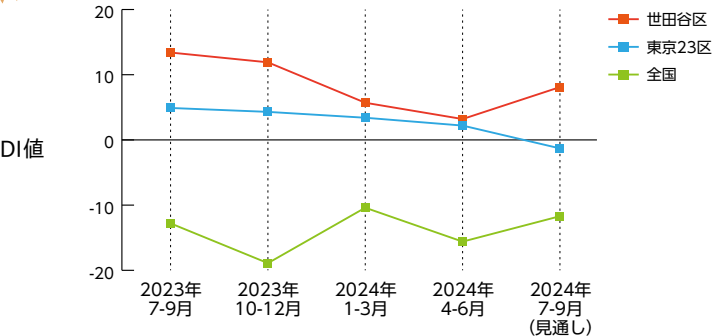
今期の業種別DIは「卸売業」+0.0（前期比+23.7）、「製造業」+11.1（同+2.6）の2業種でポイントが改善したが、それ以外は悪化した。大きく悪化したのは「不動産業」+3.8（同▲17.7）、「小売業」+3.3（同▲11.0）の2業種で10ポイント以上減少した。来期は「建設業」+17.0（当期比+14.2）、「サービス業」+9.2（同+8.4）、「卸売業」+3.8（同+3.8）など3業種でポイントが増加する見通し。



全	体	13.4	11.9	5.7	3.2	8.1			
製	造	業	14.3	2.0	8.5	11.1	9.5		
建	設	業	7.5	6.3	7.2	2.8	17.0		
不	動	産	業	▲5.5	3.7	21.5	3.8	1.9	
卸	売	業	6.8	8.1	▲23.7	0.0	3.8		
小	売	業	19.6	27.7	14.3	3.3	1.1		
サ	ー	ビ	ス	業	24.1	13.0	2.2	0.8	9.2
		2023年 7-9月	2023年 10-12月	2024年 1-3月	2024年 4-6月	2024年 7-9月 (見通し)			

東京都・
全国との
比較

今期は「全国」(▲15.6ポイント、前期比▲5.2)、「世田谷区」(+3.2ポイント、同▲2.5)、「東京23区」(+2.2ポイント、同▲1.2)と全てポイントが減少した。来期見通しは「世田谷区」(+8.1ポイント、当期比+4.9)、「全国」(▲11.7ポイント、同+3.9)は増加、「東京23区」(▲1.3ポイント、同▲3.5)は減少する見通し。



世田谷区	13.4	11.9	5.7	3.2	8.1
東京23区	4.9	4.3	3.4	2.2	▲1.3
全国	▲12.8	▲18.9	▲10.4	▲15.6	▲11.7
	2023年 7-9月	2023年 10-12月	2024年 1-3月	2024年 4-6月	2024年 7-9月 (見通し)

※データ参照（データ：業況判断DI前期比）
東京23区＝「東商けいきょう：業況判断DI」（東京商工会議所）
全 国＝「中小企業景況調査 業況判断DI（前期比季節調整値）」
（独立行政法人中小企業基盤整備機構）

経営上の問題点

1位「仕入単価、下請単価の上昇」42.7%（前期比+34.0%ポイント）は前回順位5位から、2位「人件費の増加」33.2%（前期比+11.6%ポイント）は前回順位3位から、3位「人件費以外の経費の増加」31.0%（前期比+20.9%ポイント）は前回順位4位から、4位「従業員の確保難」24.7%（前期比+19.5%ポイント）は前回順位7位から、5位「販売単価、製品単価、請負単価の低下・上昇難」16.0%（前期比+12.1%ポイント）は前回順位10位から、と上位5位までは全て前回順位から上昇した。6位「購買ニーズの変化への対応」13.8%（同▲8.7%ポイント）は前回2位から下降。7位「需要の停滞」9.5%（同+7.4%ポイント）、8位「新規参入者の進出や同業者の増加」9.1%（同+4.8%ポイント）はそれぞれ前回順位11、9位から上昇。9位「生産設備の不足・老朽化」7.9%（同+3.0%ポイント）、10位「店舗・倉庫の狭隘・老朽化」7.5%（同+1.7%ポイント）は前回8、6位から下降した。

順位	項 目	回答数	回答率	前回順位	順位	項 目	回答数	回答率	前回順位
1	仕入単価、下請単価の上昇	211	42.7%	↑ 5	11	事業資金の借入難	27	5.5%	↑ 15
2	人件費の増加	164	33.2%	↑ 3	12	金利負担の増加	23	4.7%	↑ 17
3	人件費以外の経費の増加	153	31.0%	↑ 4	13	大企業（大型店）進出による競争激化	18	3.6%	↓ 1
4	従業員の確保難	122	24.7%	↑ 7	14	取引条件の悪化	14	2.8%	↓ 13
5	販売単価、製品単価、請負単価の低下・上昇難	79	16.0%	↑ 10	15	在庫の過剰	9	1.8%	↓ 12
6	購買ニーズの変化への対応	68	13.8%	↓ 2	16	在庫の不足	8	1.6%	↓ 13
7	需要の停滞	47	9.5%	↑ 11	16	代金回収の悪化	8	1.6%	↑ 18
8	新規参入者の進出や同業者の増加	45	9.1%	↑ 9	18	購買力の他地域への流出	4	0.8%	↓ 15
9	生産設備の不足・老朽化	39	7.9%	↓ 8	19	生産設備の過剰	1	0.2%	↓ 18
10	店舗・倉庫の狭隘・老朽化	37	7.5%	↓ 6					

※複数回答（3つまで選択）のため、回答率の合計は100%を超える。